



胃癌切除後の消化器症状に対するツムラ六君子湯の術後早期投与効果—逆流性食道炎を中心として—

三重大学医学部第1外科

水野修吾, 山際 健太郎, 岩田 真, 田端正己, 田岡大樹,

伊佐地秀司, 横井 一, 野口 孝, 川原田嘉文

(第10回外科漢方研究会, シンポジウム1, 2000年11月16日. Progress in Medicine. 2001;21:1366-1367.)

【目的】胃癌切除後の六君子湯早期投与による逆流性食道炎予防効果について検討した。

【対象と方法】胃癌切除46例(ステージI~II)を無作為に性別, 年齢, 手術術式に差のない2群に分け, 六君子湯の早期投与による逆流性食道炎の予防効果について検討した。術後経口摂取開始時より六君子湯1日7.5g連日投与を行った25例を投与群, 六君子湯を投与しなかった21例を非投与群とした。

【結果】術後2週目の消化器症状をみると, 逆流症状は非投与群では7例(33%)に認めたのに対し, 投与群では4例(16%)に認めた。術後4週目には両群とも逆流症状を認める症例は減少し, 特に投与群では逆流症状1例(4%), 胃もたれ1例(4%)を認めるのみとなり, 非投与群では逆流症状3例(14%), 胸焼け1例(5%), 胃もたれ1例(5%), 食欲不振2例(10%)を認めた。内視鏡所見では術後3週目には, 非投与群ではグレードAを2例(10%), グレードBを1例(5%)認めたのに対し, 投与群ではグレードAを1例(4%)認めるのみであった。術後6週目には, 非投与群ではグレードAを1例(5%)認めたが, 投与群では逆流性食道炎の所見を1例も認めなかった。術後平均在院日数は, 非投与群47±13日に対し投与群では39±6日と, 有意差を認めないものの在院日数の短縮を認めた。

【結論】六君子湯は, 胃癌術後の逆流性食道炎の治療のみならず予防面でも有用であった。

説得レベル



ツムラ六君子湯

構成生薬: 蒼朮4, 人參4, 半夏4, 茯苓4, 大棗2, 陳皮2, 甘草1, 生姜0.5

保険病名: 胃腸の弱いもので, 食欲がなく, みぞおちがつかえ, 疲れやすく, 貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症: 胃炎, 胃アトニー, 胃下垂, 消化不良, 食欲不振, 胃痛, 嘔吐

▶胃癌切除後に無作為に六君子湯投与群(25例)と無投与群(21例)を設け比較した。術後2週の逆流症状は33%と16%, 4週間で14%と4%の差が出たという報告。術後在院日数が39日と47日と8日も差があることが驚きである。

一口メモ 六君子湯の構成生薬は四君子湯+陳皮と半夏



食道切除術を施行した食道癌患者における食欲不振と体重減少・低栄養状態に対する六君子湯の^{りっくんしとう}効果

和歌山県立医科大学第2外科

中村公紀

[Nakamura M, et al:Gastroenterology. 2014, 146(Suppl 1):S-1086.]

【目的】 食道切除術を施行した食道癌患者に対する六君子湯^{りっくんしとう}の効果を検討する。

【対象と方法】 2011年4月から2012年8月までに食道切除術(右開胸開腹食道亜全摘術もしくは胸腔鏡下食道切除および胃管再建の2領域もしくは3領域郭清)を施行した食道癌患者連続40症例のうち前半20例を対照群とし、後半20例には術後4週時から48週間にわたり六君子湯^{りっくんしとう}を毎食前2.5g(7.5g/日)服用させた。主要評価項目は六君子湯投与48週時(術後52週時)の体重減少率((術前体重-術後体重)/術前体重×100)である。その他、栄養関連パラメータおよび患者QOL(FACT-E scale)も評価した。

【結果】 体重減少率は、投与開始48週時(術後52週時)において六君子湯群^{りっくんしとう}では11.8±8.2%であり、対照群の18.0±6.9%に比較し有意に低値であった(p=0.0161)。そのほかの栄養関連パラメータおよびQOLについては、血漿アシルグレリンレベルを除き、両群間に差を認めなかった。六君子湯投与48週時(術後52週時)における血漿アシルグレリンレベルは、六君子湯群^{りっくんしとう}131.7±74.5%、対照群^{りっくんしとう}75.6±47.5%であり、六君子湯群が有意に上昇した(p=0.0391)。

【結論】 六君子湯^{りっくんしとう}が術後管理における有用な治療法の選択肢の1つとなる可能性が示された。

説得レベル



ツムラ六君子湯^{りっくんしとう}

構成生薬^{そうじやく}：蒼朮^{にんじん}4、人參^{はんげ}4、半夏^{ぶくりょう}4、茯苓^{たいそう}4、大棗^{ちんぴ}2、陳皮^{かんぞう}2、甘草^{しょうきょう}1、生姜0.5

保険病名：胃腸の弱いもので、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症：胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐

▶ 食道癌術後に六君子湯^{りっくんしとう}を投与し、術後52週後の体重減少率が投与群(20例)では11.8%で、非投与群(20例)では18.0%となり、また血漿のアシルグレリンが投与群で131.7、非投与群で75.6となった。六君子湯^{りっくんしとう}がグレリンを誘導し、そして体重減少を抑えたというストーリー。右開胸開腹術と胸腔鏡下食道切除術が混在している。

一口メモ 六君子湯^{りっくんしとう}と四君子湯^{しくんしとう}の違いは六君子湯^{りっくんしとう}が胃に障るといっても四君子湯^{しくんしとう}は飲めることが多いということである。この場合、陳皮^{ちんぴ}と半夏^{はんげ}が加わるとより実証向けになる。